

「心にベテルを！！」  
～あなたの心には大きな石が入っていますか～

エペソ 2:4～8

創世記 28:11～22

ツボに大きな石をいっぱい入れます。さて、この後、他に何かを入れる事ができるでしょうか。出来るか出来ないかといえばまだ入ります。砂利・砂・水を順番に入ると入る事ができます。この様に大きなものから入るとツボの中にはこれだけの物を入れる事ができるのです。もし、砂利から先に入れたのでは、大きな石をその後に入れる事はできません。これは私達の心の中に置き換える事ができます。砂利がささいなどうでもよい事だとすると、どうでもよい事ばかりに目が向いていると大切なものを失う事になるのです。石なわない為には私達が何の為に生きているのかしっかりと理解していなければなりません。悪魔が一番したい事は一番大切なものを失わせ、どうでもいい事に目を向け、結果何もさせなくする事が目的なのです。そのような事に陥らない為には自分のアイデンティティをしっかりと持つことです。今日もう一度心をリニューアルする為に心の中の砂を取っていきましょう。神は今日あなたを新しくしたいと思っています。聖書には新しくされた人がたくさんいました。イエスの弟子の一人「ペテロ」もそうでした。「揺れ動く葦」のような人生が「ペテロ」岩のような人生に変えられたのです。今日のメッセージのタイトルは「心にベテルを！！」ですが、この「ベテル」とは何でしょう。創世記28章11節から見ていきましょう。アブラハムの子孫ヤコブが神と約束をした場所に記念として自分が枕にした石をとりその上に油を注ぎました。その場所を「ベテル」というのです。日本でも記念に石碑を建てる風習がありますがこの出来事が現在の石碑の由来となりました。この石を立てることから始まりヤコブの子ども12人が12部族として神の約束のとおり増え広がって行きました。そしてその子孫がモーセ、ヨシュアと続きます。ヨシュアはヨルダン川を渡るとき一歩踏み出した時に川が二つに分かれました。その後ヨシュアは主が言われたとおり12の石を記念として立てました。神は旧約の時代人との約束として石を重んじ、人間は神との約束の形としてこの石をしっかりと心に刻んでいました。ですから私たちも心に神との約束の石を刻まなければなりません。あなたと神との約束がどのようなもので、どのように進んでいかなければならないか、あなたの心にはどのような石を持っているのでしょうか。いつの間にか石が偽りの石になっていないでしょうか。自分に与えられた大きな石をすっかり忘れてどうでもいいような事ばかり、抱え込んでいないでしょうか。石が偶像に変わり悪魔にごまかされてはいないでしょうか。あなたの決断がすべて神との結び合った事でなければなりません。私達の心に何をいれなければならぬか。3つの大きな石として①**キリストの石**。あなたはこれから自分のツボに大きな石をしっかりと入れ、砂利を入れ、水を注いでいかなければなりません。あなたの心の中の奥底にキリストの石を置いておかなければならないのです。ツボのどこを切ってもイエスキリストが出てくるでしょうか。散々痛い目にあって「そうだイエス様がいたんだ」それでは意味が無いのです。石をきちんと奥深くに据えましょう。②**御言葉の石**。キリストの石を倒れないようにする為に御言葉で石を守りましょう。人生を変えた御言葉をしっかりと覚えましょう。(申命記27:5～8) イエス様の石を都合のいいように削ってはいけません。イエス様をありのまま受け入れて下さい。なぜなら私達がイエス様にありのまま受け入れてもらったからです。神が下さったことをきちんと御言葉として自分の石に貼り付けて下さい。③**意志の石**。シモン(揺れ動く葦)がペテロに変わった、これはしっかりした土台に立って歩むという「意志」なのです。「意思」(思いだけ)ではだめなのです。意志はこうすると決めることなのです。人間だけが意志をもっています。意志のない人間ではいけません。「こうする」ということには太鼓判を押してください。意志を持って進むことが大切なのです。「私はこれをこうやって達成する」そこに初めて神は志を立たせ、事を実現してください。(ピリピ2:13) そしてこれら3つの石を置くために**邪魔な石～ささいな砂利を出す～**へんなこだわり、どうでもいい思い、あなたが本当にすべきことを曲げる邪魔を捨ててください。砂利をたくさん持っているとうまくもてません。「OO(怒られる、やらないと悪いことが起こるなど)だからやる」ではいけないのです。この「OO」が砂利なのです。(箴27:3～6) 本当に正しいことがわかっていれば相手に対して正しいことができるはず。もし、わかってできていなければ、あなたの心が大事な事より重くなっているのです。あなたが行っていることの真実を見てください。(IIコリント6:1・2) 神様は今あなたに救いを与えてくれています。あなたの心の中心がしっかりとしていないと、恵みが与えられているときに心の中に入れられないのです。砂だらけでは石は入りません。恵みをむだにしないでください。神の恵み、今見えているものはほんの一部です。神を信じ十字架を受け入れたあなたにはたくさんの方が用意されています。エリヤの子どもたちがつぼを持ってきたときに、「もうないです」と言ったときにその恵みはとまりました。「入るところはない」と言った時点であなたの祝福はとまってしまいます。神様はあなたを祝福しようとしています。心の中のどうでもよいことを捨て、神様の祝福を受け取っていきましょう。